

公表

第31回技能グランプリ「建具」職種競技課題

次の競技時間、注意項及び仕様、支給材料に従って課題図に示す2枚屏風を製作しなさい。

1、競技時間 12時間

(延長時間はありません)

2、注意事項

- ① 図示されていないものは、慣例に従い製作する。(糸面など)
- ② 割り込み、墨付けはすべて競技場で行う。
- ③ 原寸図の型板は使用禁止とする。
- ④ 図面上の○印、△印、△印同志は同寸法とする。
- ⑤ 安全には十分に配慮する事。競技時は作業服、帽子等を着用するものとし木工機械（テーブル傾斜丸鋸盤）や電動手持ち工具の使用に当たっては保護メガネを使用し、競技委員の指示に従い、安全に作業を行う事。
- ⑥ 木工機械（テーブル傾斜丸鋸盤）の使用に関してはホゾ引きのみとし、溝加工は電動小穴カッター（溝切りカッター）又は電動トリマを使い製作する。
工具用の刃物、治具などは持参する事。部材を固定した上で安全確認をし両手で電動小穴カッター、電動トリマを使用する事。
- ⑦ 墨付けはハタ金を使用して良いが組み立てはハタ金を使わず組み立てる事とする。
- ⑧ 手工具は指定の物以外持参しても良いが使用にあたっては競技委員が判断する。

3、仕様

- ① 機械作業のホゾ穴は、框周り・兜巾桟・ねじ組組子・香図組子・香図付子周り・土居とし、ホゾは框・上桟・中桟・下桟・兜巾桟とする
- ② 上桟 上桟と框の取り合いは箱留め接ぎ、及び腰肩止めホゾとする。
なお、箱留め接ぎの加工にあたっては電動ドリルの使用も許可する。
- ③ 框 框と横桟の取り合いは、図示に従い、製作する。
- ④ 香図部 90度折れ曲がり部は突合せとし組手加工、ホゾ加工は手加工とする。
付子は3枚留め加工とし上下横ホゾを伸ばして框、立束のホゾ穴に組み込みとする。留めホゾ伸ばしホゾ幅は4.5mm/6mmどちらでもよい。
- ⑤ 上下横桟 框と横桟の取り合いは、腰型とし角面及び銀杏面取り加工とする。
- ⑥ 斜め横桟 框と横桟の取り合いは、直角にホゾ加工とし片方9mm角面合わせとする。
- ⑦ 立束 中桟との取合いは、兜巾面合わせとし、横桟にホゾ射しとする。
- ⑧ 下ねじ組 マス格子を本捻組（地獄組）とし額のホゾ穴に組み込む。

後部に杉板 6mm を組み込みとする。額本体は建具枠組立時にともに組み込む。

- ⑨ 土居 土台と框の取り合いは框の下ホゾを、土台のホゾ穴を抜きホゾにクサビ締めとし接着剤は使用しない。
- ⑩ 束・桟 束と桟の取り合いは、兜巾面を取り、横通し立ホゾとする。
- ⑪ 額・腰板 額は捻じ組（地獄組み）を納め 留は三枚に組みビス止めにする。
腰板は額内部組み込みとする。
- ⑫ 面 図示されたものはすべてそれに従い製作する。
平几帳面及び銀杏面は手鉋、手加工とする。
- ⑬ 留型 箱留型は使用しないものとする。
- ⑭ 仕上げ 仕上げは鉋仕上げとしペーパー掛けはしないものとする。
- ⑮ その他 接着剤・釘・細ビスは、各自で持参する。
トリマースタンドは持参しても良い。

4. 支給材料

部材名	長さ	見付	見込	数	材質	備考
框	1530	50.5	40.5	2	米ヒバ	
框	1530	40.5	40.5	2	//	
上桟	700	50.5	40.5	2	//	
下桟	600	34.5	40.5	2	//	
土台	700	50.5	46.5	2	//	
中桟	600	40.5	40.5	2	//	
兜巾横桟	600	35.5	35.5	4	//	
兜巾斜め中桟	400	35.5	35.5	2	//	
兜巾立束桟 短	300	35.5	35.5	6	//	4本は切断使用
兜巾立束桟 長	800	35.5	35.5	2	//	
香図組子	850	4.5	14	25	//	各自切断、仕上済
香図付子	800	9.5	15.5	6	//	
ねじ組組子	600	14	10	9	//	立横取り、仕上済
ねじ組額	850	17.5	22.5	4	//	立横 2本取り
立腰板	800	240	6.5	1	杉	左右 2枚取り
腰板	600	310	6.5	2	杉	上下 2枚取り
ほぞ穴ゲージ	300	39	39	1	米ヒバ	
クサビ						切り落とし使用
平丁番（中厚）						ステンレス 76mm / 2枚支給

5、採点項目及び配点

採点項目	配点
作品採点	寸法精度採点 25点
	加工中採点 20点
	課題採点 50点
作業態度採点	5点

加工中採点は各接合部途中の採点をする

課題採点は各仕上げの状態、接合部隙間、かねば、ねじれなどを採点する

6、競技時間配分表

1日目

8:00～ 8:30 集合、説明
8:30～10:00 競技
10:00～10:15 休憩
10:15～12:00 競技
12:00～13:00 昼食
13:00～15:00 競技
15:00～15:15 休憩
15:15～17:00 競技

合計7時間

2日目

8:00～ 8:30 集合、説明
8:30～12:00 競技
12:00～13:00 昼食
13:00～14:30 競技打切
延長時間はありません。

合計5時間

公表

第31回技能グランプリ「建具」職種 競技会場設備基準

区分	品名	寸法又は規格(mm)	数量	備考
会場設備	加工作業場合板敷き	12mmコンパネ	全面	ガムテープ目張り
	加工場所面積	3000×3000	1人で1面	ビニールテープで区分
	作業台(立式)	2000×900×800	1人で1台	木工バイス付
	作業台(座式)	1200×290×670	1人で1台	
	黒板	1800×900	1面	ホワイトボード可
	長机	3人用	20台	
	折りたたみ椅子		50脚	
	ポリバケツ	5L位	2人で1個	水拭き用
	パーテーション	900×1800位	丸鋸盤に1脚	丸鋸盤木片飛散防止用 4脚
工具用及機工械具	墨付け台(横当て)	1組 2台	20台	人数分(予定9名)
	側置き台	900×900×900	6台	機械作業の材料置き台
	テーブル傾斜丸鋸盤	ほぞ取り装置付き	3台	3人で1台 通称「丸鋸昇降盤」
	角のみ盤		3台	3人で1台
	工具セット	スパナ等	1式	機械調整用
加工工物	丸鋸	305×2.2	3枚	縦引き用チップソー
	角のみ	4.5mm・6mm・9.5mm	各1本/台	持参して使用しても良い
採側点定具	直尺(鋼製)	L=1500、600	各1	JIS規格品
	ノギス	200	2丁	JIS規格品
	大がね		1丁	
その他	事務用品・消耗品		1式	
	救急薬品		1式	
	掃除用具		1式	

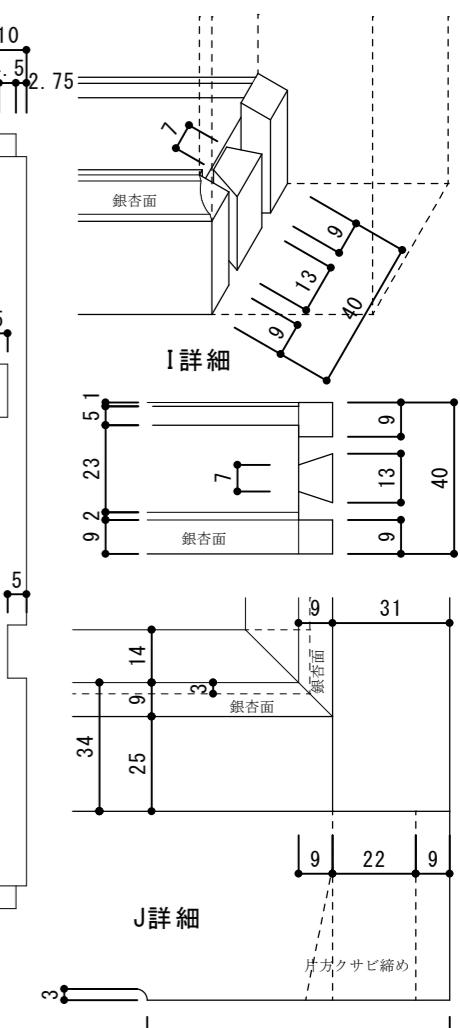
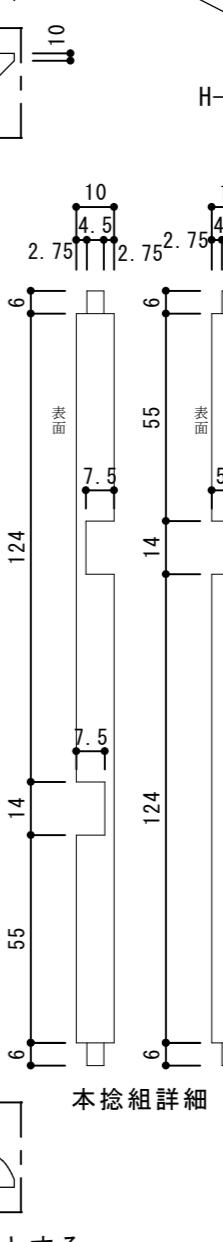
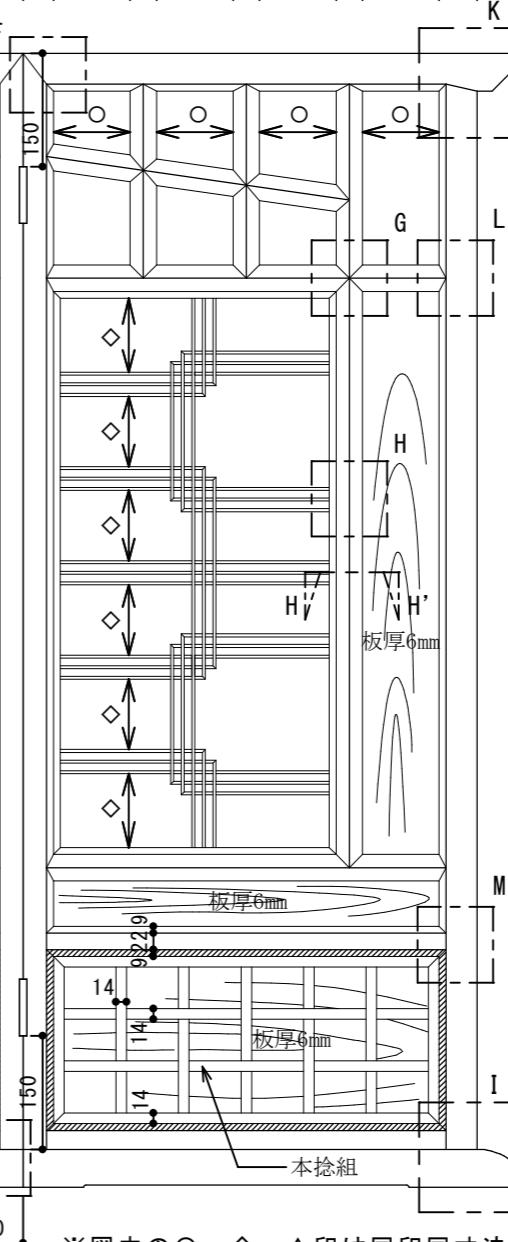
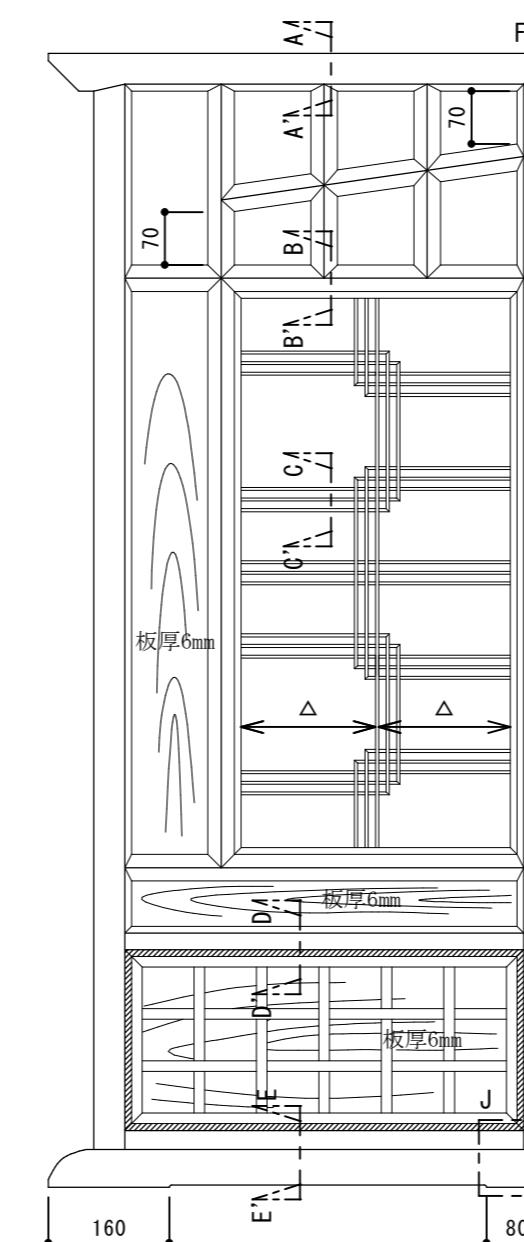
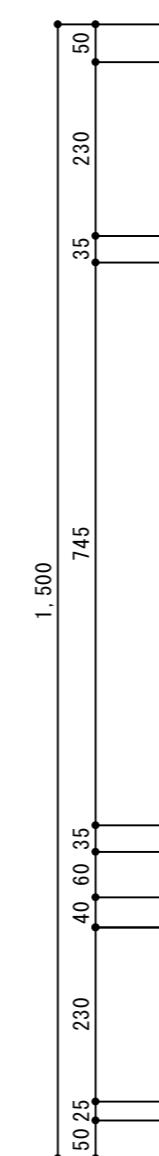
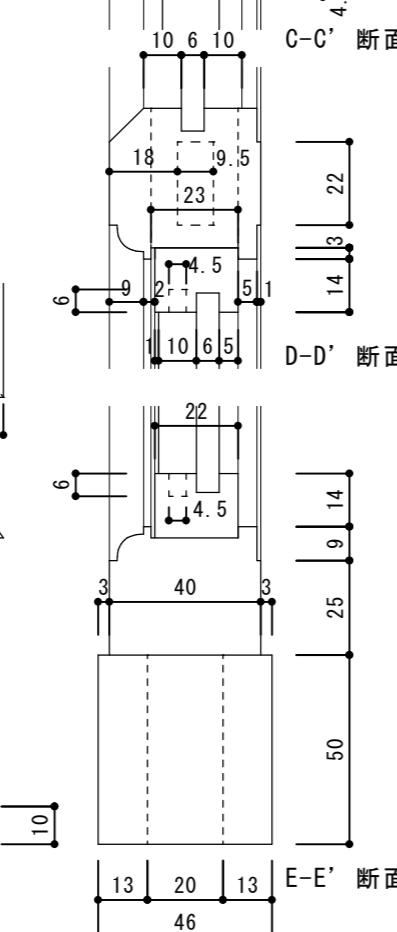
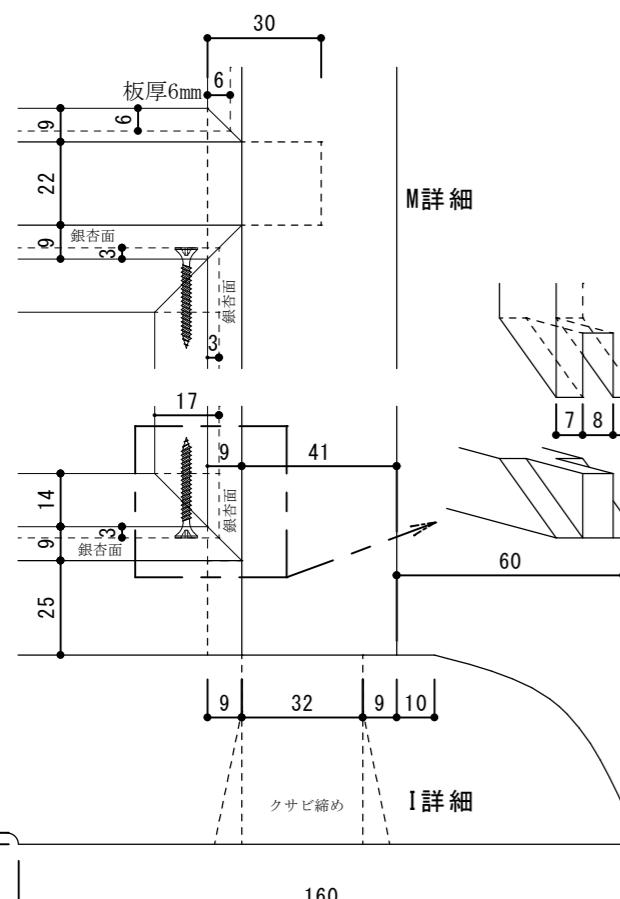
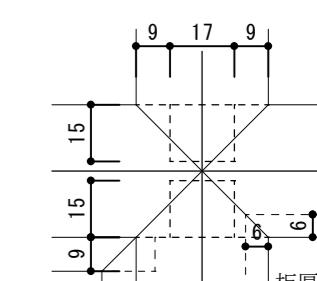
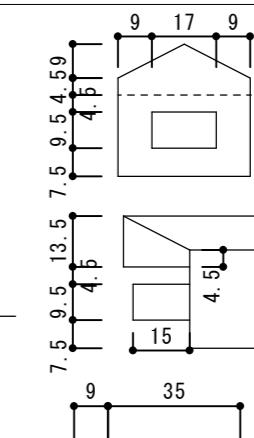
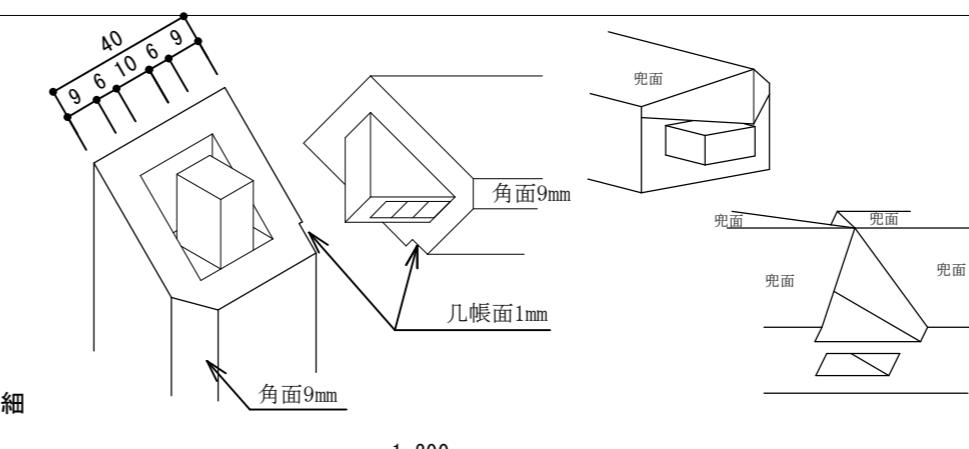
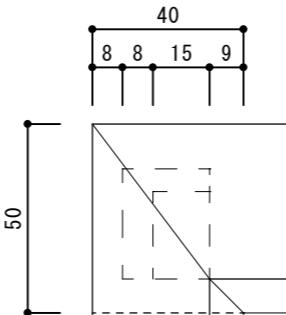
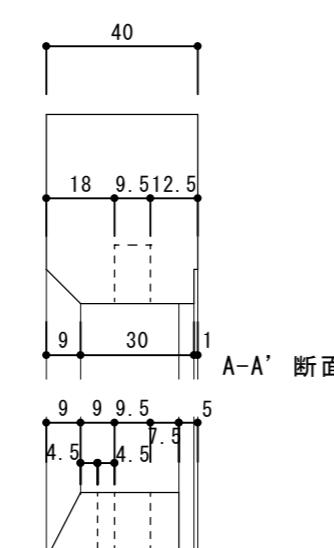
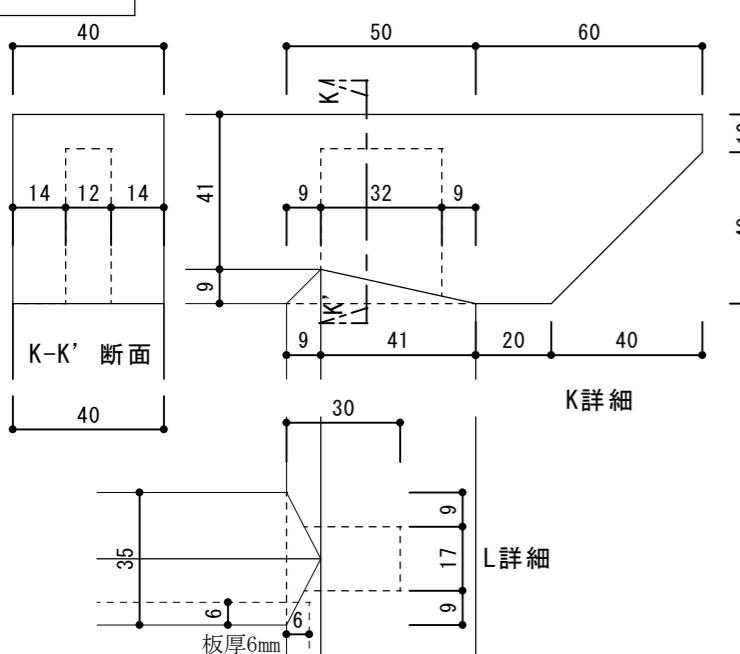
公表

第31回技能グランプリ「建具」職種持参工具等一覧表

区分	品名	寸法及び規格	数量	備考
工具	平かんな	荒・中・仕上げ	適宜	
	際かんな		適宜	
	角面かんな		1	
	几帳面かんな		適宜	通常使用しているもので良い
	両刃鋸		適宜	縦挽き鋸・横挽き鋸でも良い
	胴づき鋸		適宜	定規・鋸ハタを含む
	向う待ちのみ		適宜	
	追入れのみ		適宜	
	突きのみ、他		適宜	
	底さらいのみ		適宜	
	のみ畠引き	4.5/6/9.5mm	各1	ほぞ穴ゲージは支給する
	筋畠引		適宜	
	鎌畠引		適宜	
	四つ目きり		1	下穴用
	白書き(しらひき)		1	
	二丁白書き		適宜	
	まきがね又はスコヤ		1	
	こしかた(不精型)		適宜	留型を含むが箱型は禁止
	げんのう		適宜	
	打ち当て		1	
	はたがね		適宜	
測定具	直尺	300・600・1000mm	適宜	JIS入りが良い
	さしがね		1	
	ノギス		1	
その他	釘		適宜	
	油つぼ		1	
	接着剤	酢ビ等	適宜	
	刷毛・ブラシ等		適宜	
	砥石		適宜	
	筆記具		適宜	
	電動トリマ		適宜	トリマスタンドを持参しても良い
	電動小穴カッター (溝切りカッター)	刃物適宜	適宜	
	電動ドリル		1	
	保護メガネ		1	

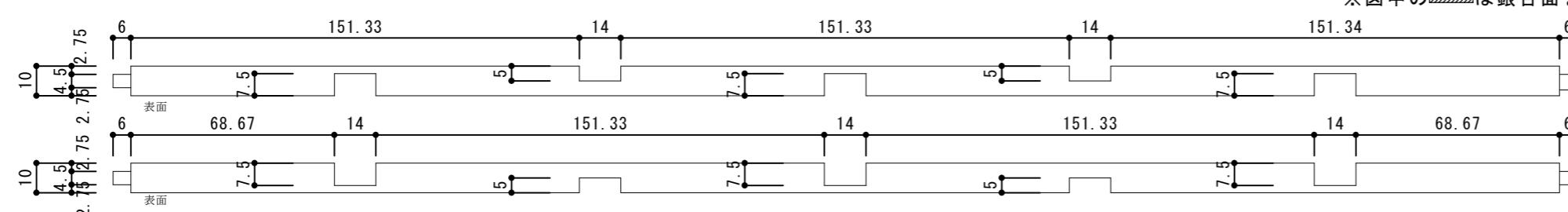
*予備の同一工具を持参しても良い

公表



- ※図中の○・◇・△印は同印同寸法とする。
- ※図中の■■■は銀杏面を示す。

本檢組詳細



第31回技能グランプリ 建具職種

縮 尺	1 : 2 1 : 10
第3角法	単位mm
材 料	米ヒバ 杉
制限時間	1 2 時間

NO.	質問内容	回答内容
Q1	課題図面に、記号(A、B、C、とかあ、い、う、など) 数字以外で書き込んだ図面を使用してもよろしいですか。	課題図面に記号、ひらがな、数字など後から書き足したものは使用出来ません。当日競技時間内に書き足しは可能です。
Q2	香図組子、ねじ組組子の組手には組手しゃくり鉤を使用して良いでしょうか。	使用できます。 ただし、寸法の墨付け加工された部材（それに準ずる部材）の持ち込み使用は出来ません。